

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	専攻科医療心理専攻		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	医療心理総合演習Ⅲ		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	専攻科医療心理専攻		学期及び曜時間	前期 金曜1・2限	教室名	心理実習室
担 当 教 員	塩山 義孝 他	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
一般社団法人日本産業カウンセラー協会が主催する産業カウンセラー養成講座の理論科目を、公式テキストに基づいて網羅する。						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点70% 出席評価点20% 平常評価点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
産業カウンセラー養成講座テキストⅠ・Ⅱ(一般社団法人 日本産業カウンセラー協会)						
《授業外における学習方法》						
授業で配布されたレジュメや過去問題を、復習としてもう一度清書してください。その際に、十分理解していない部分は自分で調べるひと手間があると、より学習が進みます。						
《履修に当たっての留意点》						
産業カウンセラー受験資格は、日本産業カウンセラー協会が実施する演習科目(実技)の履修をしなければ要件を満たしません。希望者は専攻科に進学後、別途演習科目を申し込んでください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションとは何か、人間関係を形成・調整するコミュニケーションについて理解し、過去問題を解けるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読	
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションの基本① コミュニケーションとは何か、人間関係を形成・調整するコミュニケーション 等			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションの他者への影響、異文化間のコミュニケーションについて理解し、過去問題を解けるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読	
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションの基本② 他者に影響を与えるコミュニケーション、異文化間のコミュニケーション 等			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	労働法の歴史、枠組み、当事者などについて理解し、過去問題を解けるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読	
		各コマにおける授業予定	労働法規の基本① 労働法の歴史、労働法の枠組み、労働法の当事者 等			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	雇用関係の展開と法、労働者の人権と法、労働条件の内容と法について理解し、過去問題を解けるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読	
		各コマにおける授業予定	労働法規の基本② 雇用関係の展開と法、労働者の人権と法、労働条件の内容と法等			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	労使関係、労働市場、労働紛争解決のための法について理解し、過去問題を解けるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読	
		各コマにおける授業予定	労働法規の基本③ 労使関係をめぐる法、労働市場をめぐる法、労働紛争解決のための法 等			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標 社会福祉制度の歴史と枠口について理解し、過去問題が解けるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
		各コマにおける授業予定 社会福祉関連法① 社会保障制度の歴史と枠口 等		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標 主要な社会保障制度、メンタルヘルスに関わる法制度について理解し、過去問題を解けるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
		各コマにおける授業予定 社会福祉関連法② 日本における主要な社会保障制度、メンタルヘルス対策にかかわる法制度 等		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標 人間関係開発や職場環境改善の支援について理解し、過去問題を解けるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
		各コマにおける授業予定 職場における人間関係開発・職場環境改善への支援 職場における人間関係開発の支援、職場環境改善の支援 等		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標 労働災害防止対策と補償、法的責任、労働者の心の健康のための保持増進、職場復帰支援について理解し、過去問題を解けるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
		各コマにおける授業予定 職場におけるメンタルヘルス対策への支援① 労働災害防止対策と補償、事業者の法的責任、労働者の心の健康の保持増進のための指針の概要、職場復帰支援と職場復帰支援の手引き 等		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標 過重労働対策、職場環境の改善、自殺対策について理解し、過去問題を解けるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
		各コマにおける授業予定 職場におけるメンタルヘルス対策への支援② 過重労働対策、職場環境の改善、職場における自殺対策 等		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標 危機介入と実際、産業カウンセラーの役割、基礎的な知識や技術や留意点について理解し、過去問題を解けるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
		各コマにおける授業予定 職場におけるメンタルヘルス対策への支援③ 危機介入とその実際、メンタルヘルス対策における産業カウンセラーの役割、メンタルヘルス相談に関する基礎的な知識・技術および留意点 等		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標 キャリアの理解と形成のための支援、産業カウンセラーの役割について理解し、過去問題を解けるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
		各コマにおける授業予定 キャリア形成への支援① キャリアの理解とキャリア形成への支援、キャリア形成支援における産業カウンセラーの役割 等		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標 キャリア理論、キャリア形成支援の過程について理解し、過去問題を解けるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
		各コマにおける授業予定 キャリア形成への支援② キャリア理論、キャリア形成支援のプロセス 等		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標 コンプライアンスについて理解し、過去問題を解けるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
		各コマにおける授業予定 コンプライアンスと倫理① コンプライアンス 等		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標 産業カウンセラーの倫理について理解し、過去問題を解けるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
		各コマにおける授業予定 コンプライアンスと倫理② 産業カウンセラーの倫理 等		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	専攻科医療心理専攻		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	医療心理総合演習Ⅲ		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	専攻科医療心理専攻		学期及び曜時間	前期 金12	教室名	心理実習室
担 当 教 員	塩山 義孝 他	実務経験と その関連資格	2004年より本校キャリアセンターに勤務し、2015年よりキャリアセンター長となる。産業 カウンセラー、キャリアコンサルタントの資格を持つ。			
《授業科目における学習内容》						
一般社団法人日本産業カウンセラー協会が主催する産業カウンセラー養成講座の理論科目を、公式テキストに基づいて網羅 する。 この時間は、理解不足の部分を補ったり、実技や事例について柔軟にサポートする時間にする。						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点70% 出席評価点20% 平常評価点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
産業カウンセラー養成講座テキストⅠ・Ⅱ(一般社団法人 日本産業カウンセラー協会)						
《授業外における学習方法》						
授業で配布されたレジュメや過去問題を、復習としてもう一度清書してください。その際に、十分理解していない部分は自分で 調べるひと手間があると、より学習が進みます。						
《履修に当たっての留意点》						
産業カウンセラー受験資格は、日本産業カウンセラー協会が実施する演習科目(実技)の履修をしなければ要件を満たしませ ん。希望者は専攻科に進学後、別途演習科目を申し込んでください。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	産業カウンセラーの筆記試験や実技試験に、十分対応できるだ けの力を身に着けることができる。		PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読	
	各コマに おける 授業予定	産業カウンセラー受験に向けて、再確認や実技・事例検討の時 間として学生と相談しながら柔軟に調整する。				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	産業カウンセラーの筆記試験や実技試験に、十分対応できるだ けの力を身に着けることができる。		PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読	
	各コマに おける 授業予定	産業カウンセラー受験に向けて、再確認や実技・事例検討の時 間として学生と相談しながら柔軟に調整する。				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	産業カウンセラーの筆記試験や実技試験に、十分対応できるだ けの力を身に着けることができる。		PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読	
	各コマに おける 授業予定	産業カウンセラー受験に向けて、再確認や実技・事例検討の時 間として学生と相談しながら柔軟に調整する。				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	産業カウンセラーの筆記試験や実技試験に、十分対応できるだ けの力を身に着けることができる。		PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読	
	各コマに おける 授業予定	産業カウンセラー受験に向けて、再確認や実技・事例検討の時 間として学生と相談しながら柔軟に調整する。				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	産業カウンセラーの筆記試験や実技試験に、十分対応できるだ けの力を身に着けることができる。		PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読	
	各コマに おける 授業予定	産業カウンセラー受験に向けて、再確認や実技・事例検討の時 間として学生と相談しながら柔軟に調整する。				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標 産業カウンセラーの筆記試験や実技試験に、十分対応できるだけの力を身に付けることができる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
	各コマにおける授業予定	産業カウンセラー受験に向けて、再確認や実技・事例検討の時間として学生と相談しながら柔軟に調整する。		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標 産業カウンセラーの筆記試験や実技試験に、十分対応できるだけの力を身に付けることができる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
	各コマにおける授業予定	産業カウンセラー受験に向けて、再確認や実技・事例検討の時間として学生と相談しながら柔軟に調整する。		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標 産業カウンセラーの筆記試験や実技試験に、十分対応できるだけの力を身に付けることができる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
	各コマにおける授業予定	産業カウンセラー受験に向けて、再確認や実技・事例検討の時間として学生と相談しながら柔軟に調整する。		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標 産業カウンセラーの筆記試験や実技試験に、十分対応できるだけの力を身に付けることができる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
	各コマにおける授業予定	産業カウンセラー受験に向けて、再確認や実技・事例検討の時間として学生と相談しながら柔軟に調整する。		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標 産業カウンセラーの筆記試験や実技試験に、十分対応できるだけの力を身に付けることができる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
	各コマにおける授業予定	産業カウンセラー受験に向けて、再確認や実技・事例検討の時間として学生と相談しながら柔軟に調整する。		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標 産業カウンセラーの筆記試験や実技試験に、十分対応できるだけの力を身に付けることができる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
	各コマにおける授業予定	産業カウンセラー受験に向けて、再確認や実技・事例検討の時間として学生と相談しながら柔軟に調整する。		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標 産業カウンセラーの筆記試験や実技試験に、十分対応できるだけの力を身に付けることができる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
	各コマにおける授業予定	産業カウンセラー受験に向けて、再確認や実技・事例検討の時間として学生と相談しながら柔軟に調整する。		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標 産業カウンセラーの筆記試験や実技試験に、十分対応できるだけの力を身に付けることができる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
	各コマにおける授業予定	産業カウンセラー受験に向けて、再確認や実技・事例検討の時間として学生と相談しながら柔軟に調整する。		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標 産業カウンセラーの筆記試験や実技試験に、十分対応できるだけの力を身に付けることができる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
	各コマにおける授業予定	産業カウンセラー受験に向けて、再確認や実技・事例検討の時間として学生と相談しながら柔軟に調整する。		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標 産業カウンセラーの筆記試験や実技試験に、十分対応できるだけの力を身に付けることができる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ 公式テキスト	公式テキストを熟読
	各コマにおける授業予定	産業カウンセラー受験に向けて、再確認や実技・事例検討の時間として学生と相談しながら柔軟に調整する。		